

# 町会ニュース

第44号  
12月号  
平成27年12月27日



## 平成27年を振り返って & あの頃の祭礼雑用明細



町内会員の皆様におかれましては日頃より町内会活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。お陰を持ちまして平成二十七年も幕を閉じようとしております。

成金を活用して防犯カメラを二台追加設置し、現行五台稼働したことを報告します。

防犯カメラの稼働箇所については次号以降の町会ニュースで報告したいと思います。

さらに、三年目となる防災避難訓練を約二百名程度の参加を得て開催できました。この様に、防



災訓練を継続実施しているのは八木連合町会の中でも当町だけであります。近年の異常気象による集中豪雨、今後三十年以内に七十%の確率で発生予想される南海トラフ地震への備えとして防災訓練が定着するように皆様の更なる協力をお願いいたします。



た事もご報告いたします。以上、平成二十七年四月以降の主要事項を取りまとめ報告いたします。町会役員一同は皆様の積極的な支えをいただき、活動と行事を行えた事のお礼を申し上げ、平成二十八年も皆様のご要望に十分応えてまいりたいと存じます。

### 戦後七十年 あの頃の 祭礼雑用明細

今年の戦後七十年、先の戦争についてのテレビ特集番組が放映され、多くの出版物も書店に並びましたが、我が箕路町会では昭和十八年十月六日付箕路町内会「祭礼地車雑用明細」が保存されているので、皆様に紹介して当時の祭礼について振り返ってみることにします。

まず、昭和十八年十月の祭礼を挟む時期はどのような社会状況であったのか確認します。戦争の状況は悪化しており、九月には空襲による方が一の事態に備えて、東京上野動物園ではゾウ、猛獣類殺害などの処置がとられました。また、十月二十一日には明治神宮外苑競技場で出陣学徒壮行会が挙行されました。この様な時期でありましたが、身近な庶民生活ではまだ余裕が見られる時期でもあったようです。

この情勢下での祭礼費用明細ですが、当時の金額を現在価格に換算する必要があります。換算基準として一般的に白米十kg価格を採用するケースが多いので、この基準で現在に置き換えた金額表を示すこととします。

まず、収入ですが七つの隣組御花合計額は十四万一千円です。支出は夜疑神社と久米田寺のお供え各八千円、これに加えて、鳳神社へもお供え一万二千元があります。何故、鳳神社がここに登場するのか、理由は不明です。他に煮干二百匁二千円、大工手間一万四千元、壮年組礼一万四千元、女子救護班礼一万円、団扇五十本七千円、組長慰勞金一万四千元、青年慰勞酒五千円、屋根(民家)修理費二万一千円、鶏二羽と酒三本四万八千円等が記載されています。支出合計額は十六万円程度であり、二万円の支出超過です。

戦時下の厳しい環境であつても、一方では住民の力で祭礼を楽しんだ姿が浮かび上がるとともに、祭礼の収支項目は現在に引き継がれていることがよく解りました。また、新たな資料が発見されれば皆様に紹介したいと思います。

町会長 吉田 篤

### 街角散歩

#### 三世代のお餅つき 「みづくり学級」

十二月六日(日)箕路青少年会館で餅つきをしました。

十九名の参加があり、大変にぎわいました。子どもたちは、餅つき体験の後、餅を丸めて持ち帰りました。



の素晴らしい活動でした。  
岸和田市立  
箕路青少年会館  
館長 藤原左記子

